



今月号では、1月に開催されました定例教育委員会の報告と、マキノ西小学校の活動を紹介します。

第1回定例会報告

1月23日開催

協議

高島市立小中学校事務共同実施組織運営規程について
市内小・中学校における事務・業務の効率化と学校運営支援のために組織する共同実施組織の組織・運営についての規程を定めました。

(委員からの意見)

この規程には、共同実施組織のひとつとして部会の運営が定められているが、従来の事務職部会と重複し、学校事務に支障が起きないように配慮されたい。

「水と緑、人に学ぶ体験活動ネットワーク会議」の実施について
高島市の豊かな自然を学習



マキノ西小学校

「マキノ西小学校のじまんは、とにかく自然に囲まれていることです。自然がいっぱいでみんな外で仲良く楽しそうにして遊んでいます。自然を利用した自然塾クラブもあります。全校77人、先生を入れても90人ですが、みんなあいさつなどをしてくれるいい学校です。学校に来たあと、始業までの時間に外や体育館で1年から6年までがおにごっこやボール遊びをします。一人ひとりが力を合わせて元気な学校になっ



山おやじの森で

ているので、僕にとっては最高の学校です。どの学校にも比べられないほど最高です。」

の場として、自然そのものや自然に働きかけてきた人々の営みについて、体験学習に取り組んできた各学校の発表・交流の場を設けます。
・2月15日(木) ※実施済
会場 安曇川公民館

平成19年高島市成人式の実施結果について

合併後初の統一成人式として、1月7日(日)高島市民会館で開催しました。対象者数763人のうち、607人の出席(出席率79.6%)があり、盛大に終えることができました。

(委員からの意見)

約20%の新成人が参加していない原因も調査してほしい。成人式の意味を理解してもらう工夫が必要。



これは冬休みに全校生に出された宿題「マ西の自慢」の中から、5年生男子の作品です。
「元気で、熱気あふれる、楽しい学校」をめざして、マキノ西小学校では、地域に根ざし、地域に開き、信頼される学校の創造に取り組んでいます。
その中でも「里山から学ぶ活動」は地域の雑木林を中心に学習します。「山おやじの森」との出会いから、草木染め、カタクリ作り、木こり体験、炭作り、木ざりでのプレゼント作り、炭を利用し七輪を使つての里山パーティー、猟師さんの話等、地域の人材の技術にふれ、その技術を少しでも受け継ぐとすると芽生えを期待する学習です。特にお茶作り活動は、多くのお年寄りに協力頂き、古くからある製茶の技法を掘り起こすことができました。田んぼ活動では初まきから収穫、縄ないまでを地域の方々から学び、地域に支えられている学校であることが実感できました。



▲お茶づくり



縦割り遊び

少人数からくる固定化された人間関係の打破は、本校の課題です。新しい自分づくりの場、生き方を広げる場として縦割り活動にも力を入れています。6月の縦割り遊びから始まり、運動会の応援・競技、球技大会、掃除等、異なる年齢が仲良く活動し、遊ぶ姿が見られます。縦割りの班活動を通して、いつもと違う仲間の中で、いつもと違う自分と向き合い、仲間から学び、いつもと違う自分の発見をめざしています。

平成17年度から3か年、県の算数・数学学力向上の研究指定を受け、「子ども一人ひとりの考えの道筋やつまずきに着目した学習指導」をテーマにきめ細かな算数の指導を展開しています。朝自習での計算、算数の授業での複数指導等、授業・指導方法の工夫にも取り組み、成果が見られます。昭和50年代に健康安全教育に



安全マップをみて

ついて、文部省(当時)から表彰された経緯もあり、現在でも安全教育については学校の柱としていきます。地域の力を借り、地域とともに児童の安心・安全に取り組んでいるところです。2学期終業式の日には、スクールガードやPTA役員の方とともに、子どもたちが各地区の安全マップを確認し合い、冬休みの安全についての話を聞きました。その後、集団で下校しながら、危険箇所の確認・雪道での安全な通学について確かめました。自然に囲まれ、地域の温かい目に包まれ、我が地区・我が学校が誇れる子どもに育てようと、日々取り組んでいます。

学校給食費の滞納問題について
平成18年12月末現在で、約1,867万円ある給食費過年度分の滞納実態について報告がありました。
また、本市での徴収体制についての説明もあり、学校が徴収事務を行っている他市の実態などを参考に、給食費の滞納をいかに縮減していくかを協議しました。

(委員からの意見)

複雑な学校環境の中で、給食費の取り扱いの負担を学校にかけることについては、慎重に考えるべきである。
経済的に苦しい状況の中でも給食費を納めている家庭がある中、このように多くの滞納家庭があることは、学校給食運営事業に及ぼす影響は大きい。また、親の規範意識にも問題がある。
学校関係者とも至急協議し対策を検討する必要がある。

高島古代史連続講座の開催について

「謎の大王 継体天皇を探る」と題し、3回シリーズで高島古代史連続講座を開催していきます。
第1講「継体天皇と日本の古代」
第2講「継体天皇と古代高島」

第3講「継体天皇とその時代」
\*第1講・第2講 ※実施済
\*第3講 3月25日(日)
会場 藤樹の里文化芸術会館(ホール)



第1講の様子

「木津荘・清水山城跡現況調査成果報告会」について

「戦国の村ウォッチング」として国史跡清水山城館と城下の痕跡をウォークでご覧いただきます。
3月17日(土)
午前9時受付
JR湖西線新旭駅集合

「中世高島の村落と領主」と題しての講演や報告が行われます。

3月18日(日)
午後1時開会
新旭公民館(多目的ホール)

その他の報告

高島市民大学(健康コース)受講者アンケート結果について報告を受けました。